

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	《公園緑地施設整備事業》						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	みどり公園課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	公園整備係		
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		27 公園・緑地・緑道		3 公園・緑地・緑道の整備を推進します				
		副目的	27-2								
	予算区分	款	8	項	4	目	5	大	3	中	
	根拠法令・個別計画	小牧市緑の基本計画、小牧市都市計画マスタープラン									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	公園の適正配置に努めるとともに、緑の保全・創出、自然にふれあえる公園を整備改修し、市民に憩いの場を提供する。									
	内容 (手段)	<p>実施設計に先立ち、整備予定の各公園ごとに地域市民参加によるワークショップを開催し、公園整備内容や整備後の維持管理・安全対策についての地域ニーズと小牧市緑の基本計画を反映させた地域密着型の公園整備を進めます。</p> <p>平成23年度は、児童遊園5ヶ所の整備と岩崎山公園の園路整備を実施した。 (老朽化が進んだ児童遊園(83カ所)の施設改修を計画的に進める。)</p> <p>平成24年度は、児童遊園5ヶ所の施設改修、北外山中央公園の整備、岩崎山公園の園路を整備し、南外山公園の実施設計、ワークショップを実施した。</p> <p>平成25年度は、小牧南区画整理内の南外山公園整備工事及び岩崎山前区画整理内の岩崎山公園の法面整備工事、岩崎原中央公園の整備を実施した。 また、三ッ淵南公園整備に向け用地取得を行った。</p> <p>【H25直接経費内訳】 役務費 (457千円) 委託費 (33,442千円) 工事費 (187,052千円) 用地費 (167,326千円) 負担金 (1,520千円) 消耗品 (192千円) (国支出金:社会資本整備総合交付金107,300千円) (その他財源:公園整備事業債133,800千円)</p> <p>平成26年度は、三ッ淵南公園の整備及び岩崎山前区画整理内の岩崎山公園の法面整備工事、(仮称)市之久田昭和公園、(仮称)小牧原西公園の用地調査を実施する予定です。</p> <p>【H26直接経費内訳】 役務費 (68千円) 委託費 (64,800千円) 工事費 (234,500千円) 用地費 (17,847千円) 負担金 (1,402千円) 消耗品 (2千円) (国支出金:社会資本整備総合交付金28,600千円) (その他財源:公園整備事業債31,400千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	61,024	223,115	389,992	318,619	
		正職員	従事者数	人	0.70	0.90	1.40	1.20
			人件費	千円	3,682	4,734	7,364	6,312
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	64,706	227,849	397,356	324,931		
対前年比	%			352.1	174.3	81.7		
財源	一般財源	千円	64,706	176,649	156,256	264,931		
	国・県支出金	千円	0	51,200	107,300	28,600		
	その他財源	千円	0	0	133,800	31,400		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	都市公園新設箇所	箇所	目標		—	1	2
実績				—	1	2	
児童遊園改修箇所	箇所	目標		5	5	5	10
		実績		5	5	4	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			都市公園の箇所数 (緑地・緑道を含む)	箇所	目標	103	104
市民一人あたりの都市 公園面積	m ² /人	目標		7.33	7.36	7.39	7.42
		実績		7.29	7.34	7.38	

事業の自己評価	平成25年度の事業の達成状況	平成24年度に実施した地元市民参加によるワークショップを活かし、利用者が憩える施設と緑を配置した南外山公園と岩崎原中央公園の整備を完了した。また、継続して整備している近隣公園の岩崎山公園の法面整備を行った。さらに三ツ淵南公園について、平成26年度整備に地元市民参加によるワークショップの開催と用地取得を行った。		
	事業実施における課題	土地区画整理事業以外の公園整備には、基本計画(都市計画決定)から用地取得、ワークショップ、整備工事が必要となる。これには多くの時間と事業費が必要となる。		
	事業を縮小・廃止したときの影響	緑の基本計画による公園整備目標の平成32年で7.6m ² /人に向けた公園の適正配置や、緑の保全・創出、自然にふれあえる公園整備の進捗が鈍ることとなり、市民に憩いの場を提供する目的が達せられなくなる。		
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	設計委託や工事発注の平準化及び早期発注を行い職員の事務軽減をし事業の進捗を図る。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	公園整備や緑の創出・保全については、近年市民からの要望が特に強い事項であるが、限られた人員や事業費の中でこの要望を実施していくには現状を維持することが適切と判断する。		
	27年度以降の改善案	緑の基本計画の目標達成や地元要望の公園整備を進めるには、設計・監督事務の更なる合理化・平準化を図る必要がある。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。